

# 第 129 回東邦医学会例会プログラム

平成 19 年 2 月 9 日 (金) 午後 1 時～7 時 11 分  
東邦大学医学部大森臨床講堂 (5 号館 B1)

2 月 9 日 (金)

開会の辞—————薬理学講座教授 水流弘通

## A. 一般講演

座長：中野弘一教授 (卒後臨床研修/生涯教育センター) 1～3 席 (1:00—1:27)

1. 東邦大学医療センターにおける卒後臨床研修は研修修了者に満足を与えることができたか? (7分)  
○並木 温 (大森循環器内科)  
中野弘一 (卒後臨研/生涯教育セン)
2. 東邦大学医療センターにおける卒後臨床研修は行動目標が学べるように配慮されていたか? (7分)  
○並木 温 (大森循環器内科)  
中野弘一 (卒後臨研/生涯教育セン)
3. 総合感冒薬の大量服薬により急性肝不全, 急性腎不全を呈した 1 例 (7分)  
○久我原明朗, 山田宇以, 久松由華, 坪井康次 (心身)

座長：三浦一陽教授 (大森泌尿器科) 4～5 席 (1:27—1:45)

4. 入院患者における潜在的腎疾患の検討 (7分)  
○大橋 靖, 鈴木康紀, 森田 智, 田中仁英, 酒井 謙  
水入苑生, 相川 厚 (腎臓)
5. 塞栓術で出血をコントロールしえた腎血管筋脂肪腫に合併した腎動脈瘤破裂の 1 例 (7分)  
○永田雅人, 山辺史人, 高杉啓一郎, 片岡和義, 小林秀行  
大平 直, 中島耕一, 栗田 稔, 永尾光一, 原 啓  
三浦一陽, 石井延久 (大森泌尿)

座長：勝呂 徹教授 (第 1 整形外科) 6～7 席 (1:45—2:03)

6. 廃用症候群に対する取り組みについて (ビデオによる患者指導) (7分)  
○牛込伸行, 大国生幸, 中沢 仁, 内 昌之, 中村綾子, 新井義朗, 栗原元子, 保坂 広, 原田 孝 (リハ)  
土谷一晃, 勝呂 徹 (1 整)
7. 小指屈筋腱皮下断裂の治療経験 (7分)  
○齊藤宗樹, 関口昌之, 大日方嘉行, 川上裕史, 勝呂 徹 (1 整)

座長：水流弘通教授 (薬理学) 8～9 席 (2:03—2:21)

8. 脊髄神経結紮マウスにおける神経因性疼痛発現と gabapentin の効果 (7分)  
○守本慎一, 中瀬古寛子, 赤羽悟美, 水流弘通 (薬理)  
小田哲子, 黒田 優 (微細形態)

9. ウサギ顔面静脈に対する phentolamine の血管収縮作用 (7分)

○中井修三, 水流弘通 (薬理)

## B. 平成 17 年度プロジェクト研究報告

座長：水流弘通教授 (薬理学) 10～11 席 (2:21—2:41)

10. TNF ファミリー蛋白の転写調節 (抗腫瘍免疫からの回避) (8分)

○土井範子 (大森臨検)

中瀬古寛子 (薬理)

11. 陰茎海綿体において NO と cGMP が関与するが, PKG の関与しない弛緩関与の解明 (8分)

○古川勝雄 (薬理)

片岡和義 (大森泌尿)

座長：高松 研教授 (細胞生理学) 12～14 席 (2:41—3:11)

12. 体内時計蛋白質のユビキチン化・リン酸化・核細胞質間移行によるリズム同調・発振制御機構の解析 (8分)

○田丸輝也, 小林正明 (細胞生理)

13. 嗅覚感度調節における嗅細胞リン酸化機構の解析 (8分)

○三輪尚史 (細胞生理)

原科純一 (2脳)

14. 高純度神経幹細胞分離精製法の開発 (8分)

○浜之上誠, 唐 洋 (細胞生理)

座長：石井壽晴教授 (病理学) 15～17 席 (3:11—3:41)

15. 放射線誘発 B リンパ球アポトーシスにおける CD180 と関連因子の発現性の解析 (8分)

○藤田和子 (病理)

鎌田 至 (大森消内)

16. 実験的川崎病動脈炎モデルにおけるヒト免疫グロブリン大量療法作用機序の病理学的検討 (8分)

○大原関利章 (大橋病理)

二瓶浩一 (2小児)

村石佳重 (大橋病理)

17. DHEA のインスリン抵抗性改善作用についての検討 (8分)

○上芝 元 (糖代内)

蜜田亜希 (大森病理)

座長：逸見仁道助教授 (免疫学) 18～21 席 (3:41—4:21)

18. Caspase 非依存性細胞死経路におけるミスマッチ修復タンパクの役割の解明 (8分)

○有田通恒 (分生)

菊池由宣 (大森消内)

19. 神経芽腫細胞株における p21 遺伝子発現調節機構の解明 (8分)

○関 正華 (分生)

岩崎維和夫 (大森消外)

20. 固形腫瘍由来細胞株の細胞死経路異常の検索 (8分)

譚 珂, ○山田かなえ (分生)

21. ヘムオキシゲナーゼ1遺伝子はタクロリムスの膵β細胞障害作用を阻止するのに有効である (8分)

○寺田江里 (小児)

板橋淑裕 (腎臓)

大野真稚 (大森臨検)

座長：渋谷和俊教授 (病院病理学) 22～24席 (4:21—4:51)

22. 大脳皮質の層構造異常と微細血管構築の検討：マイクロアレイによる胎生期リーラーマウスの遺伝子解析 (8分)

○村田 望 (微生物感染)

齊藤善雄 (物理)

長谷川千花子 (大森病理)

23. 炎症性腸疾患におけるCTGFの発現の解析とマウス腸炎モデルを用いた狭窄のコントロール (8分)

○福田勝之 (佐倉内科)

小出一樹 (佐倉外科)

北村 真 (佐倉病理)

24. 骨膜圧着多孔性ハイドロキシアパタイト (PHA) による人工骨の研究・開発：  
特に新生組織の微細構造に関する画像解析 (8分)

○平田晶子 (大森形成)

林 明照 (佐倉形成)

森田あやこ (大森病理)

## C. 特別講演

座長：水入苑生教授 (腎臓学) 25席 (4:51—5:21)

25. 血液型不適合腎移植：accommodationと臨床成績 (30分)

腎臓学教授 相川 厚

座長：山口宗之教授 (佐倉外科) 26席 (5:21—5:51)

26. 外科と免疫 (30分)

佐倉外科学教授 加藤良二

---

シンポジウム (5:51-7:11)

企画・担当：薬理学講座，眼科学第1講座

## 真菌感染

司会：松橋正和教授（第1眼科）

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| 1) 爪白癬の発症機序に関する病理学的解析（15分）       | 平田 晶子（形成外科） |
| 2) 真菌血症の管理：眼科受診の重要性（15分）         | 大牟田絢子（第1眼科） |
| 3) 抗真菌薬の薬理（15分）                  | 赤羽 悟美（薬理）   |
| 4) 深在性真菌症の診断と治療，ガイドライン改訂の要点（25分） | 渋谷 和俊（病院病理） |

閉会の辞——眼科学第1講座教授 松橋正和

- 
- 注1) 一般講演，プロジェクト研究報告の演者の先生は，必ず例会当日までに講演抄録（400字程度）と Keywords（英語3語以内）を e-mail にてお送りください（送り先：igakukai@med.toho-u.ac.jp）。東邦医学会雑誌総索引では Keywords が入りますので，適切な用語を選んで下さい。
- 2) シンポジウムの先生は，例会当日より4週間以内に3200字程度に総説としてまとめて提出してください。
- 3) 特別講演の先生は，例会当日より4週間以内に4000字程度に要旨をまとめて提出してください。  
（注：1～3とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定ですので，必ずお願いします。2，3につきましては，詳細を受付におたずねください。）